延安の娘（2002）

メディア 映画
ジャンル ドキュメンタリー
製作国 日本
色彩 Color
時間 120分
初公開日 2003/11/11
公開情報 蓮ユニバース＝パンドラ

【キャッチコピー】
“聖地”に置き去りにされた娘は
それでも一目　実の親に逢いたかった

【解説】
　これまで中国を中心に多くのドキュメンタリーを手掛けてきたテレビ・ディレクター池谷薫が初めて挑んだ長編ドキュメンタリー映画。生まれてすぐ棄てられたという女性の親を捜す過程に密着、青春の真っ只中で文革に遭遇し、時代に翻弄された彼女の両親と同世代の人々が自らの忌まわしき過去と向き合う姿を真摯に見つめる。
　中国・延安。“中国革命の聖地”と呼ばれるこの場所で、貧しい農村の娘・海霞（ハイシア）は、実の親を捜していた。彼女は生まれてすぐに両親に棄てられた。彼女の両親は文化大革命時代に毛沢東により組織された紅衛兵の一員だった。共産党内部の壮絶な権力闘争に利用され、振り回される結果となった紅衛兵たち。海霞の“自分が生まれ、棄てられた理由が知りたい”という強い思いは、かつての紅衛兵たちの忌まわしい記憶を甦らせてしまう。そして、海霞の親探しを手伝う黄玉嶺にも、そんな拭い去ることのできない紅衛兵時代の痛ましき過去があった…。

【クレジット】

監督	池谷薫
エグゼクティブプロデューサー	北川恵
	中西利夫
プロデューサー	権洋子
撮影	福居正治
編集	吉岡雅春
録音	鈴木正実

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.